様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９、Ｚ－１９　（共通）

科学研究費助成事業　　研究成果報告書

平成 ２７ 年　 ５ 月 ２９ 日現在

機関番号：１５３０１
研究種目：基盤研究(C)
研究期間：2012～2014
課題番号：２４５２０８５９

研究課題名（和文）身体表現からみた弥生時代のジェンダー構造に関する実証的研究

研究課題名（英文）Empirical research on the gender system in the Yayoi Period focusing on the analyses of the bodily representation

研究代表者
光本　順（MITSUMOTO, Jun）

岡山大学・社会文化科学研究科・准教授

研究者番号：３０３２５０７１

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費）　　3,800,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は各種の考古資料にみる身体表現の分析から弥生時代のジェンダー構造を明らかにすることを目的とする。この研究では、弥生時代前期・中期の西日本および東日本の身体表現、弥生時代後期の黥面絵画を含む身体表現に関する基礎的研究を推進した。また、分析の結果、弥生時代には男女一対の表現が通時的に確認できる一方で、単独の個体、ジェンダーが不分明な表現が併存することも確認された。本研究では、物が生み出す異性愛規範が、弥生社会において限定的に展開するという見通しを得た。

研究成果の概要（英文）：This research aims to clarify the gender system in the Yayoi Period focusing on the analyses of the bodily representation, which is composed of various kinds of archaeological records. The study promoted the fundamental research with regard to the bodily representation from Western and Eastern Japan in the Early and Middle Yayoi Period, and the representation including tattoo in the Late Yayoi Period. Moreover, as a result of analysis, it is clarified that the representation of a pair consisting of a man and woman is recognized diachronically in the Yayoi Period. Simultaneously, it is sure that the independent or non-gendered representation also existed through the Yayoi period. In conclusion, this research presents a perspective that the heteronormative effect produced by artefacts is not universal in the Yayoi society.

研究分野：日本考古学

キーワード：考古学　ジェンダー　クィア　弥生時代　身体表現

１．研究開始当初の背景

(1) 弥生時代のジェンダー研究の課題

これまで弥生時代のジェンダーにかかわる研究では、銅鐸絵画や木偶等の一部の男女像をもとに、主として男女の関係史が明らかにされてきた。一方で、当時の身体表現は、必ずしも男女一対の形態をなすものばかりではない。単独で成り立つ表現や、ジェンダー表現あるいは性象徴が不明瞭なものも多く見受けられる。したがって、弥生社会において、広くジェンダー規範がどのように作用していたのかを明らかにするためには、特定の男女像に限らずあらゆる身体表現のあり方を、ジェンダー視点のもとに改めて分析・考察する必要がある。

(2) 日本考古学におけるジェンダー関連研究の諸段階と本研究の位置づけ

日本考古学におけるジェンダーに関連する研究は、戦後の婚姻史や生活史、社会組織研究の成果を継承しながら、以下のように展開したものと考える。

第一段階: 性別分業論、女性史研究

第二段階: 欧米考古学の動向を明示的・積極的に日本に導入することをはかるフェミニスト・ジェンダー考古学

第三段階: ジェンダー規範の形成メカニズムと、その物質文化的基盤に関する研究

従来の第一「女性」の歴史的役割に焦点を当てた点が重要である。また二段階の研究は、欧米考古学の研究史をレビューしながら、社会的・文化的「性」としてジェンダー概念を規定し、その概念を日本考古学に導入した。結果、現代のジェンダーバイアスが、特に女性にかかわる歴史復元に影響を及ぼす点や、現代の女性研究者の立場に関する分析、そして、男女のジェンダー史を明らかにすることに大きく寄与してきた。しかしながら、女性史や男女の関係史を描くことを主目的とする従来の方向では、そもそも異性愛規範（heteronormativity）にそぐわない現象についての言及がなしえない。さらに異性愛規範を含むジェンダー規範の全体像を歴史的に把握することが困難となることが予想される。したがって第三段階の研究を試行することで、日本考古学におけるジェンダー研究の課題を乗り越えることを目指す段階に来ているものと考える。

２．研究の目的

弥生時代の身体表現に着目し、当時のジェンダー構造を実証的に解明することを目的とする。本研究では特定資料から男女の関係性のみを抽出することでジェンダー史を描く方法をとらない。本研究は、物としての身体表現を通して、当時の社会関係の中に生み出されたジェンダー規範の強度や作用のあり方について明らかにすることを目指すものである。そのような目的に沿うべく、本研究では以下の目標を立てた。

(1) ジェンダー研究の土台となる基礎的研究の充実

弥生時代のジェンダー構造を追究するために、まず各種の考古資料の身体表現に関する基礎的研究を蓄積していくことを重視する。すなわち、当該期の身体表現を広く集成し、実際の資料を観察する。

(2) ジェンダー考古学に関する理論面での貢献

考古学におけるジェンダー研究の新たな可能性を追究することで、これからの同研究の進展に寄与する。そのため本研究では、人文社会科学における 1990 年代以降のクィア・スタディーズ（Queer studies）の発展を受け、2000 年を前後して欧米考古学で成立した「クィア考古学」的視点を戦略的に導入する。クィア考古学とは、性的マイノリティ研究が基盤となり、異性愛規範を中心とする社会の諸規範に対してラディカルな対抗的・批評的検討を行うものである。研究代表者はすでに理論的展望を示してきたものの（光本順「クィア考古学の可能性」『論叢クィア』第２号、2009 年）、日本ではまだなじみのない分野であるのが現状である。そのため、本研究では以下の点を推進することも目標として掲げた。

①関連する海外の研究文献を収集し、クィア考古学の理論と方法について開拓すること。

②国内のクィア・スタディーズに関する研究会への参加や、本研究によるクィア考古学的成果に関する研究発表を海外の学会において行うことを通じて、最新の研究成果の吸収および研究者間のネットワークの構築をめざすこと。

これらは日本のクィア考古学の発展において不可欠と考えられ、本研究が生み出しうる成果のひとつとして、目標とすべきものである。

３．研究の方法

(1) 分析対象資料

弥生時代の身体表現は、多様な器種の考古資料において認められる。本研究の対象時期は弥生時代全般である。資料については、人物が立体的に造形された「人形製品」と、人物が平面的に描かれた「絵画資料」とに大別した上で、両者を分析対象とする。「人形製品」「絵画資料」は、具体的に以下の種類の考古資料からなる。

「人形製品」： 人形土製品（弥生土偶）、分銅形土製品、人面付土器、土偶形容器、人形土器、土製仮面、木製仮面、石棒、岩偶、木偶

「絵画資料」： 土器・青銅器・木製品・石

製品に描かれた人物絵画

すでに研究代表者は、主に西日本弥生時代前期末以降の絵画資料や、中期中葉以降の分銅形土製品等の身体表現の研究を実施してきた（光本順『身体表現の考古学』青木書店、2006 年）。本研究では、それらを基礎としながら、西日本の弥生時代前期や東日本の身体表現を分析資料に加えることで、弥生時代の身体表現の全体像をつかむことをめざす。

(2) 研究方法

資料集成と個別の資料観察を研究の基礎とする。多くの種類の考古資料を扱うため、以下のように年度ごとに対象資料を割り振り、最終的にジェンダー構造に関する総合的な考察を行う。

①平成 25 年度は、西日本弥生時代前期～後期の「人形製品」である人形土製品と人面付土器、土製仮面、分銅形土製品を研究対象とする。

②平成 26 年度は、「人形製品」研究の続きとして、西日本の木偶と東日本の再葬墓にかかわる人面付土器・土偶形容器を取り上げる。

③平成 27 年度は、弥生時代前期末以降に展開した「絵画資料」に着目する。

４．研究成果

(1) 人形製品に関する基礎的研究

主に西日本弥生時代前期・中期のいわゆる「弥生土偶」等と呼ばれる人形製品に関して、観察と検討を行った。あわせて、東日本の人面付土器や土偶形容器、人形土器に関する資料集成作業と観察を実施し、それらと西日本の資料の比較検討を行った。分析の結果、西日本や北陸の人形土製品と、長野県の人形土器との類似点を指摘した。それにより、当該資料群の系譜と分類に関する基礎的研究を進めることが可能となった。

(2) 岡山県倉敷市楯築弥生墳丘墓の人形製品に関する事例研究

資料に関する個別的研究のひとつとして、弥生時代後期の楯築弥生墳丘墓の身体表現に関するクィア考古学的考察（広く「規範性」をめぐる考察）を実施した。同墳丘墓は、当時の日本列島において最大規模のものである。この墳丘墓に伴う人形土製品および伝世弧帯石（人面と帯状文様で構成される）を議論の軸に据え、その地域的位置づけについて検討した。その結果、これら資料について、他の墳墓や集落の資料と比較すると、特異性・希少性という点で卓越的であるとともに、それがゆえに他との共通項が少ないという排他的性格を有するものと評価した。このような他者からの卓越性と排他性のあいだに位置する身体表現のあり方は、楯築弥生墳丘墓が他と取り結ぶ重層的関係の一断面およびその規範的性格のゆらぎを表すものと考えられる。

(3) 弥生時代後期の黥面文・非黥面文・撥形文に関する研究

岡山県鹿田遺跡出土絵画資料の分析を起点として進めた。その結果、黥面文や非黥面文、身体表現由来と考えられる撥形文、さらにはその他の文様が、連接的に描かれるという現象が、弥生時代後期後半の文様の特色のひとつであるものと評価した。また、鹿田遺跡例においては、これらの文様が男性や女性、そして抽象化により性別不分明な主体を表象しながら、異種混交的に表現されることを指摘した。

(4) 弥生時代のジェンダー構造に関する研究

弥生時代のジェンダー構造について、以下のような見通しを得た。まず男女一対の表現は、通時的に確認できるものと考えられる。すでに先学が論じてきたように、弥生時代の男女一対表現は、縄文時代に比べると数量、種類、分布地域も広がりをみせるものである。またその歴史的背景に関しては、西日本水稲農耕文化の日本列島における展開と関連するものと考える。同時に着目できるのは、単独で成り立つ表現・個体や、ジェンダーが不分明な表現が通事的に併存していることである。したがって、異性愛的男女関係という表象が物を通して生産される場面に関しては、弥生社会においていまだ普遍的とはいえず、限定的に展開したものと考えられる。

(5) ジェンダー考古学およびクィア考古学に関する理論的研究

本研究により、欧米のクィア考古学の理論と実践例に関する文献を収集することが可能となった。また、アメリカ合衆国の理論考古学会（2014 年）で設定されたクィア考古学セッションにおいて研究発表を実施するとともに、最新の研究動向に関する情報収集を実施した。これらによって、クィア考古学がクィア・スタディーズの問題関心と呼応する形で研究テーマを拡大していることや（例：クィア・スタディーズと障害学の接近）、近年の欧米理論考古学の一潮流でもあるアクター・ネットワーク理論とクィア考古学との親和性等が明らかとなった。

５．主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計　２　件）

①<u>光本　順</u>、北米理論考古学会参加記、考古学研究、243、査読無、2014、11-14

②<u>光本　順</u>、ジェンダーで何がわかるか、考

古学研究会 60 周年記念誌・考古学研究 60 の論点、査読無、2014、143-144

〔学会発表〕（計　３　件）
①光本　順、弥生時代「人形土器」の系譜と分類に関する一試論、考古学研究会岡山例会、2015 年３月 14 日、岡山大学（岡山）

②MITSUMOTO, J、Between Excellence and Deviation: a Queer Archaeological Analysis of Bodily Representation in the Yayoi Period in Japan、Theoretical Archaeology Group-North America Meeting 2014、2014 年５月 24 日、イリノイ大学アーバナシャンペーン校（アメリカ合衆国）

③光本　順、吉備弥生人の姿と心、大阪府立弥生文化博物館考古学セミナー、2013 年 11 月 23 日、大阪府立弥生文化博物館（大阪）

〔図書〕（計１件）
①岡山大学埋蔵文化財調査研究センター編、吉備人出版、鹿田発掘 30 年・弥生時代を語る、2015 年（刊行決定済、分担執筆）
分担執筆箇所:　光本　順、鹿田遺跡出土人面線刻土器の歴史的位置

６．研究組織

(1)研究代表者
光本　順（MITSUMOTO JUN）
岡山大学大学院社会文化科学研究科・准教授
研究者番号：３０３２５０７１